



遠大勵志

秋季東北地区高校野球



2回戦勝利！ ベスト8に進出

黒沢尻北	0	0	0	0	0	1	3	1	1	...	6
盛岡市立	0	1	0	0	1	0	0	0	1	...	3

黒陵野球部は、昨日17日(月)に盛岡市立高校とベスト8をかけて花巻球場で2回戦を戦った。朝の雨による遅れと前の試合が長引いたために、ゲーム開始が予定よりもかなり遅れた15時45分からとなったが、黒陵野球部の集中力は欠けることはなかった。1回表、1番2番3番に3連打。無得点だったが、勝利に期待が持てるような出だした。盛岡市立には、2回裏に四月朔日くんにソロホームランの1点、5回には守備



の乱れから1点取られたが、試合展開の流れは黒北にあるように見え、安心して見ていられた。黒北は6回先頭打者の1番小田島が右中間に3塁打。2番岩崎のセカンドゴロの間に1点。7回からは暗くなりライトが点灯されナイトゲームに。この7回は先頭打者の5番杉澤がライト線への3塁打。6番佐々木裕がショートゴロエラーで出塁。7番島田のセカンドゴロダブルプレーの間に1点。その後8番中野、9番小原青が連続四球を選び、1番小田島の右中間3塁打で、更に2点を追加。ついに4-2と逆転に成功した。

8回は4番菊池がセンター前ヒットで出塁。5番杉澤がバントで送り、6番佐々木裕が右中間に2塁打を打ち、また1点追加。9回は8番中野がセンター前のヒットで出塁した後、9番小原青がバント。1番小田島がレフト線ぎわに2塁打を打ち、1点を追加。9回裏には盛岡市立に1点返されたが、本校が6-3で勝利した。ピッチャーの島田は180球近い投球数になったが、よく踏ん張り投げていた。全員野球でもぎ取った勝利だ

った。素晴らしい！の一言。

野球部全員の勝利への執念と、それを大きな声でサポートした応援部と父母会の皆さん全員の勝利であった。

【岩手日報9/18(火)朝刊より】



黒沢尻北は中盤以降の好機を確実にものにして逆転勝利。夏の岩手大会3回戦で敗れた盛岡市立に雪辱を果たした。新岡秀一郎監督は「(野球は)流れのあるスポーツ。よく我慢して戦ってくれた」と8年ぶりの8強を喜んだ。今夏の4強入りに貢献した盛岡市立の主戦四月朔日隆徳(2年)に要所を抑えられ、五回まで無得点。2点を追う六回、リードオフマンの小田島賢人(2年)が甘く入った直球を右中間に運び、持ち味の俊足を生かして三塁打にした。次打者の内野ゴロの間に生還し、反撃ののろしを上げた。「自分の打撃をするだけ。プレッシャーは感じなかった」と小田島。同点の七回2死一、二塁で勝ち越しの2点二塁打を放ち、九回1死二塁でも適時二塁打。5打数5安打3打点の大活躍でチームを勝利に導いた。主戦島田元晴(2年)は「自分たちは後半に強い。逆転を信じて投げ続けた」と苦心の投球。14安打を浴びながら178球を投げ抜いた。「まだまだいける。東北大会1勝が目標なので次も粘り強く戦いたい」と目の色を変えた。

ベスト4をかけた試合は、
明日19日(水)12:30~
八幡平球場で、大船渡高校と



全校のみなさんも応援を！！頑張り！黒陵野球部！！